

茨城県北芸術祭における メディアアート作品の制作・展示について

芸術系 村上 史明

旧美和中学校の屋上と日立駅の展望スペースに設置された《風景幻灯機》は、現実の美しい風景をベースにしなが、現実にはあり得ないことが起こり始める映像を楽しむことができる望遠鏡型の作品。映像は、県北地域の伝承を収録した8世紀の地誌『常陸国風土記』の「^{かびれ}賀毗禮の高峰」や「ダイダラボウ」の伝説をもとにしている。この現実と幻想が混じり合う新しいアートの体験は、神話の出来事がもしかしたら本当にこの地で起こったのかもしれないと感じさせてくれるものとなった。また旧美和中の教室内に設置された《Fly Me to the Earth》は、天井から吊られた飛行機型のオブジェで、中を覗くと飛行機から見える風景がアニメーション映像として広がっている。飛行機の向きを上下左右に動かすことでパノラマ映像が変化し、鑑賞者はヴァーチャルな世界をめぐることができた。雲の合間からは、常陸大宮市の風景が垣間見えた。

On the rooftop of the former Miwa Junior High School, and at the observation deck in Hitachi Station, Fumiaki Murakami installed a Magic Scenery Lantern. Peering into these telescope-like artworks, viewers saw images that, though built upon on the actual beautiful scenery, gradually began to move and show impossible things happening. The videos are based on legends recorded in the Hitachi no Kuni Fudoki - an ancient 8th-century manuscript that documents Kenpoku folklore - like "The Lofty Peak of Mt. Kabire" and the giant "Daidarabo." This new artistic experience merged reality and fantasy,

and invited viewers to wonder whether the legendary events could have actually happened in this land.

Murakami also installed his Fly Me to the Earth inside a classroom in the same school. This was an airplane-shaped object that hung from the ceiling, through which visitors could see an animation showing the view from the airplane. When the plane was turned up, down, right or left, the panoramic image shifted in keeping with the motion, allowing the viewer to explore the virtual world at will. Through the clouds, one could glimpse the city of Hitachiomiya down below.

作品内で上映されるアニメーションでは、西暦721年に編纂された常陸国風土記を基にしている。

東方にある大きな山を、カビレの高峰という。ここには「タチハヤノヒヲノミコト」という神がおいでになる。この神の祟りはとても厳しくて、もし向かって大小便をするような人があれば、たちまちその人に災いをお下しになり、病気にさせてしまうのである。近くに住んでいる人々は、いつでもひどく苦しみ悩んでいたが、とうとう朝廷にそのありさまを申し上げ、祟りを払ってくれるようお願いした。そこで朝廷は片岡の大連を派遣して、敬い祭らせて、祈願をして言った。「今、あなたのおいでになるこの地は、近くに百姓の家があって、朝夕にきたなく汚らわしい所です。当然ながらあなたのおいでになるような所ではございません。ど

うかここを避けて、高い山の清浄な所にお移り下さいますよう」と申し上げた。そこで神は、この願いごとをお聞き入れになって、とうとうカビレの峰にお登りになられた。およそこの地を飛び交うどんな鳥も、この峰を避けて飛び、峰の上を通るものは一羽もない。昔からそうであって、今なおかわらない。

常陸国風土記（西暦721年、養老5年）
現代語訳引用：常陸国風土記 全訳注、秋本吉徳、講談社学術文庫

2016年に開催された茨城県北芸術祭では、県北地域を中心に100以上の作品が展示され、65日間にわたって75万人以上の来訪者があった。著者の

作品は日立市 JR 日立駅の構内と常陸大宮市旧美和中学校の教室と屋上の計3カ所に設置された。鑑賞者が作品に触れることで体験が出来、また、耐候性が求められる屋外での展示であったので、構造的な仕様は十分に吟味される必要があった。金属加工については、研究基盤総合センター工作部門にご依頼させていただいた。図面の作成や構造的な理解については初心者であったが、丁寧なご指導をいただき完成させることができた。結果として、期間中に動作不良を起こすこともなく、台風などの天候の変化においても十分な動作を行うことができた。



作品名：《風景幻灯機》Landscape Magic Lantern

制作年：2016

素 材：FRP、ステンレス、ジュラルミン、木材、コンクリート、液晶ディスプレイ、マイクロプロセッサ、石英ガラス、スイッチング電源、ロボットケーブル
FRP, stainless steel, duralumin, wood, concrete, liquid crystal display, microprocessor, quartz glass, switching power supply, robot cable

サイズ：155×75×140cm

映 像：ループ



作品名：《Fly Me to the Earth》 Fly Me to the Earth

制作年：2016

素 材：慣性計測装置、地磁気センサ、反射型液晶パネル、木材、真鍮、マイクロプロセッサ、石英ガラス、定荷重ばね、ロボットケーブル、スイッチング電源、ジェットファン

inertial measurement unit, geomagnetic sensor, reflective liquid crystal panel, wood, brass, microprocessor, quartz glass, constant load spring, switching power supply, robot cable, jet fan

サイズ：12×35×30cm、全天周映像